



# 株式会社矢野船装 SDGs宣言

当社は、「安全明朗・鋭意前進・和親協力」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年11月1日

株式会社矢野船装  
代表取締役 矢野 賢



## 重点項目(ターゲット2030)

### 従業員との信頼関係の追求

従業員の声を大切にし、「和親協力」のもとコミュニケーションを深め、信頼関係をベースにした従業員の心身に配慮した職場環境づくりに努めます。

#### 【主な取り組み】

多様化するニーズに対応するための技術力の向上、従業員主体の職場環境改善への取り組み、現場の声や実情の把握、経営理念とビジョンの浸透



### 環境に配慮した事業活動

環境問題を重要な経営課題と捉え、再生エネルギーの活用など事業活動における環境負荷の低減に努め、関係者とともに省エネルギー化に貢献します。

#### 【主な取り組み】

ステークホルダーと連携した船の推進力や燃費の向上、焼却炉の使用停止、太陽光発電の設置、LED照明への切替、廃材の有効活用



### 安心できる船舶の居住空間創り

船の居住空間を創る事業者として、徹底した品質管理、高い技術力により、信頼される空間創りに努めます。また、事業を通して地場産業の発展に貢献します。

#### 【主な取り組み】

船の木材に係る内装工事、船で長期間安心して生活できる空間創り、相性が悪い金属と木を組み合わせる高い技術力の追求、地場産業の一翼を担う企業としての社会的責任の全う



### 健全な企業経営

ステークホルダーの皆さまとの対話や連携を重視し、公正・公平な取引に努めます。皆さまから信頼され、必要とされる会社を目指します。

#### 【主な取り組み】

関係者との深い対話、対等な取引関係の維持、品質の追求、関係法令の点検と遵守、従業員への経営理念の徹底



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。